

第2回 甲田地区小学校統合準備委員会 要点録

開催日時：平成26年7月15日（火）午後7時～8時45分

開催場所：甲田文化センターミュージズ（2階研修室）

参加状況	<p>■委員会委員（敬称略）</p> <p>豊原 稔和 甲立小学校区内の振興会代表 ◎委員長 明木 一悦 小田小学校区内の振興会代表 今村 佳岳 小田東小学校区内の振興会代表 原田 和雄 甲立小学校保護者会の代表 田邊 介三 甲立小学校保護者会の代表 足助 智恵 小田小学校保護者会の代表 新田 敦宏 小田小学校保護者会の代表 ○副委員長 岩田 幸雄 小田東小学校保護者会の代表 岩谷 典亮 小田東小学校保護者会の代表 秋岡 賢慶 甲立保育所保護者会の代表 原田 久美子 小原保育所保護者会の代表 富永 美香 小田東保育所保護者会の代表 山平 弥生 甲立小学校の校長 川本 和暁 小田小学校の校長 信末 実智則 小田東小学校の校長 宮本 直彦（欠席） 甲田中学校の校長</p> <p>■安芸高田市</p> <p>叶丸 一雅 安芸高田市教育委員会教育次長 児玉 晃 安芸高田市教育委員会学校教育課長 二井岡 直文 安芸高田市教育委員会学校教育課主幹 土井実貴男 安芸高田市教育委員会教育総務課長 柳川 知昭 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係長 倉田 英治 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係専門員</p>
傍聴	9人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 諸般の報告 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 協議項目2 統合校の位置について (2) 専門部会の設置について 4. 事務連絡 5. 閉 会 <p>【資料】</p> <p>資料1：統合校の選定表</p> <p>資料2：財政健全化計画抜粋資料</p> <p>資料3：担当部会別協議項目（案）</p>

会 議 概 要

事務局	<p>1. 開 会</p> <p>第 2 回目の甲田地区小学校統合準備委員会を開会致します。本日は、甲田中学校の宮本校長が欠席でございます。進行は、豊原委員長さんをお願い致します。</p>
委員長	<p>第 1 回目の委員会で、次回の委員会で報告する事項がいくつかありましたので、事務局から報告してください。</p>
事務局	<p>2. 諸般の報告</p> <p>前回の質問事項等について報告させていただきます。</p> <p>まず 1 点目に閉校誌の件で、美土里町の学校史を取り寄せてほしいということがありました。これにつきましては、2 冊ずつ借りてきていますので、後ほどご覧いただければと思います。</p> <p>2 点目に、甲田町内の 3 校の保護者交流会の結果を委員の皆さんへ情報提供してほしいという話がありましたので、2 回目の開催通知とともに委員の皆さんへ配布させていただきました。</p> <p>3 点目として、合併した地域の保護者の話を聞きたいということがあったと思いますが、これについては委員さんの自主的な交流をしたいという旨の発言であったと思いますので、近隣の世羅町とか北広島町の例がありますので、準備委員会で再度協議して頂いて、必要に応じて、教育委員会を通じて話しをするなどさせていただきたいと思います。</p> <p>4 点目の甲立小の選定理由、耐震基準、新設できる予算があるのかということについては、後ほど資料を準備していますのでその際に報告させていただきます。</p>
委員長	<p>4 点の報告について、何か聞きたいことがあればご発言下さい。</p>
委員	<p>合併した地域の保護者との視察交流について、「情報提供はしますので自主的な交流にしてください」というふうに受け止めました。それもあるのですが、事務局主導での視察交流も期待しています。</p>
事務局	<p>こちらは自主的な交流と受け止めていましたが、そういうことであれば、再度この場で話をいただければと思います。</p>
委員長	<p>それでは諸般の報告を終わりたいと思います。次に協議事項に入ります。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>事務局の方から甲立小学校に選定された理由について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>協議項目の第 2 号、統合校の位置について説明させていただきます。</p> <p>提案内容は、統合校の位置は、現甲立小学校である安芸高田市甲田町上甲立 4 3 3 番地とするものです。選定理由につきましては、資料 1 をご覧ください。9 つの大項目、1 8 の小項目を甲立小学校、小田小学校、小田東小学校の 3 校で比較検討し、甲立小学校を選定しています。</p> <p>(資料 1 を参照)</p> <p>現在の安芸高田市の財政状況について資料 2 をご覧ください。普通交付税は、既に合併 10 年を経過しているので、11 年目から段階的に縮減されます。加算措置が終了する平成 31 年度までに総額 24 億円が縮減されることとなります。さらに交付税縮減に加えて、市の人口減などを勘案して財政</p>

	<p>計画を立てましたところ、平成 28 年度から財源不足になり、平成 31 年度までで 34 億 8,500 万円の財源不足が想定されています。(資料 2 参照) このような財政状況を踏まえて、甲田地区に限らず、各統合区において新しい校舎の建設ではなく、既存の学校施設を活用するという計画にしています。</p> <p>小学校の耐震基準については、平成 15 年 7 月に出された耐震診断指針に沿って、昭和 56 年以前の旧基準で建設された建物について診断や補強工事を行っています。昭和 56 年以降に建設された建物は新耐震基準の建築物であり、甲立小学校は昭和 59 年 9 月の建設です。平成 26 年 4 月現在で、市内の学校施設について 95.5%は耐震化工事を終了しています。</p> <p>以上の、3 小学校の比較、本市の財政状況等を勘案して甲立小学校を統合校として選定しています。</p>
委員長	<p>統合校の位置についての説明を事務局の方からしていただきました。皆さん、聞いてみたいところがありましたら、ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>位置の話の検討が始まったのは平成 21 年ですけど、実際に 5 年経過し、以前の資料を見ても同じことしか協議されていないと感じます。時代は流れ、国では小中一貫校の話が進んでいます。国会でこの 7 月、もしくは秋までには方針が打ち出されるなかで、この位置で小学校だけを動かすのか、それとも小中一貫校になったとき、そのことについてはどのように検討していくのか、そのあたりが不安です。せっかく、皆さん集まって議論するのであれば、将来的なことも見据えて、もっと先のことを考えて動かしていくべきじゃないかと思えますけど、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>小中一貫校については、具体的におそらく 3~5 年後に実際に出てくると思います。</p> <p>皆さんご存知のように年長組の 5 歳から入れる義務教育課程の検討がされる時代です。確かに、小学校の統合と合わせて小中一貫校の議論もなされた方がいいという感じもします。</p> <p>ただ現状の安芸高田市の財政状況を考えて、実際に新設校としての一貫校の建設ができるかどうかを考えたときに、しんどいのではないかと思います。最終的には、我々住民が負担をしないといけないし、国から補助金の上乗せがあるかどうかは、現状では非常に難しいと考えます。</p> <p>委員さんの提案もわからないでもないですが、現時点では小学校の統合をまず進めていく準備委員会である以上は、そちらをメインに議論を先に進めるのがいいのではないかと思います。皆さんいかがですか。</p>
委員	<p>確かに財政的な問題があると思います。今の学校環境改善交付金、交付税を使って、島根の方であれば 3 億 3~4000 万ぐらいで建設できています。市の財源的には 2000 万ぐらいしかかかっていない。財源的なものをしっかり勉強して本当にできないのかということ話し合うべきだと思います。</p>
事務局	<p>学校統合に係わって中学校、小学校で一貫校の話がでていますが、この間、ご存知のように小学校は 13 校を 7 校、中学校については現在あるものを 2 校ということで方針が出ております。一貫校の設定をするというのは、中学校を含めた協議になると、また一からということになります。今回の小学校統合の協議のなかで、合わせて進めるというのは難しいという思いを持っています。</p>
委員	<p>中学校 2 校にすると決めた時点と 13 校を 7 校にすると決めた時点で、そのときに一貫校の話はありましたか。</p>
事務局	<p>パブリックコメント等を読むと、一貫校という話題は出ていました。中学校が 6 校ありますが、1 校だけでは団体競技のクラブもできないというような中学校も出てきています。小学校を貼り付けて一貫校にすることにしても、将来的に成り立たないというような意見が出ていました。</p>

委員長	<p>小中一貫校について、議論の余地はあると思いますが、現時点で、安芸高田市甲田地区の小学校統合については、併論で小中一貫校の在り方も考える形を議論することが、果たして適正なのか、私としては、今の委員会の性質からしたら不適當ではないかという感じがいたします。</p> <p>現段階では、まず小学校の統合方針を出されているわけですから、そのために過去 2 年間、PTA 役員や保護者会で議論されてきているはずで、その辺を加味していただいて、小学校統合の議論を進めていただければと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>委員長さんの言われることは、もっともだと思います。私も統廃合に反対しているわけではないです。少しでも前に繋がる学校統合であるべきだと思っています。</p> <p>特に、今の甲田町のなかで言えば、人口減の課題が教育なんです。学校教育に魅力がないからどんどん出ていく、私学に行くわけです。であれば、ちょっとでも魅力のある教育、我々は甲田町にいい学校を造って人に来てもらいたい、人に住んでもらいたい思いがあるので、そこをやはり議論すべきだと思っています。</p>
委員長	他の委員の皆さんはいかがですか。
委員	小学校の保護者の中で話し合うなかでも小中一貫校の話もちろん出ましたし、中学校の合併が先じゃないかという話も出ています。一概に、小学校の保護者は小学校の統合を優先的にやってほしいということではないので、それを知っていただきたいと思います。
委員長	<p>その他、意見ございませんか。</p> <p>それぞれ皆さん、3校の保護者会の報告書は読んでいただきましたでしょうか。個人的な感想ですが、議論のなかでは、統合はやむなしという形に方向付けが結論的には出されていると感じました。</p>
委員	<p>準備委員会に参加すれば、学校は3つが1つになる。場所はどこになるかわからないけれど、計画では甲立となっている。それに対して、保護者の気持ちは、スッキリしない気持ちがずっとあったので、2年間は教育委員会の説明を受けて、保護者がそれに対していろんな質問をし、質問の中にあつたような中学校が先じゃないかとか小中一貫校を造ってほしいというような意見もありましたが、今この時点では、はっきりしたものは出せないで、準備委員会で議論しましょうと教育委員会から説明されました。保護者には、準備委員会に入ってしまうと、そんな議論もできないんじゃないかという思いがあつて準備委員会に参加すること自体も躊躇するというような雰囲気がありました。</p> <p>去年1年間、私が甲立小学校の会長をしていたので、レポートに深くかかわっていました。</p> <p>確かにみんなの気持ちには、合併やむなしくて気持ちはありますが、揺れる気持ちも、浮き彫りになっているので、先日も保護者が中心になっている3校の合同三役会議を開いたのです。甲立小が条件としては納得性のあるものが示されているんだけど、やっぱり新しい学校があるといいという気持ちが捨てきれない。どうやったら造れるかを考えたという思いが保護者にはあつて、さっきの事務局から財政の説明がありましたが、保護者の求めている説明ではないんです。どうやったら学校ができるのかという話をしてほしかった。学校建設は、これぐらいお金がかかるんですとか、保護者はどれぐらいの経費・年数が必要なのかのイメージがわからないんです。新しい学校を造って2.3年したらまた合併するような学校ではなく、自分たちが地域で誇れるような子供たちが喜べるような学校を造りたいのが正直な本音です。財政的な理由を先に述べられると、正直なにも言えなくなる感じです。</p>
委員長	保育所の保護者はいかがですか。
委員	去年の保育所保護者会の会長ということで、会議に出て意見交換させていただきましたが、準備

	<p>委員会を作ったからといって、すぐに合併という理解ではありません。統合自体は皆さんが言われたようにいつかしないといけないと思いますが、ひとつひとつの条件を理解していくために参加しているので、具体的に噛み砕いて話ができたらいいなと思います。新設の部分を噛み砕いた上で、それがどうしても難しいということであれば、納得する理由がほしいと思います。その説明が今日は聞けなかったと思いました。</p>
委員長	<p>その他、ございませんか。</p>
委員	<p>統合校の選定表の資料は今までの説明に来られた時に見ています。私は点数化されているのかなと思っていました。高くても悪ければ10悪ければ1同じぐらいなら8か9で分かれて点数になっていて、合計でやっぱりここですねみたいなものがあるのかなと思っていたので、もしそういうのがあれば見たいと思いました。</p>
委員長	<p>選定表資料1に係わってのご意見だと思いますが、児童数であるとか標準的な小学校の適正人員とか我々にはわかりません。学校教育を進めていく上で安芸高田市学校規模適正化委員会が開催されて答申が出されたと思います。その過程の中で、基準の小学校は少人数でも決して悪いことではなく、ただ複式学級になると、学校の先生の負担であるとか小学校の学年が違う教育とか、実際我々は複式学級で教育を受けたことがないので、現実にはわからないのが実態だろうと思います。</p> <p>あくまでも統合というのは、3校一緒になって、新たな学校を創っていくというのが、統合の新しい学校だと思います。そういう観点から議論していただければもう少し前に進めるんじゃないかなと思います。</p>
委員	<p>準備委員会に出る＝統合が確定ではないですよと3校の会長さんは言っておられたと思うんです。合併、統合の話し合いをする場ではあるんですけど、十分議論されないままに話が進んでいくということについて小学校・保育所の保護者は不安っていうか、この場でしっかり議論をしたいということの表われなんじゃないかと私は思えるんですけど。</p> <p>この場で、最初は場所の選定ですけど、準備委員会の中でも新しい学校創りのために新しい案や見つけていく作業が必要だと思います。</p>
委員	<p>自分たちの意見を通すために準備委員会に参加し、意見交換したいと思い参加していますが、学校の位置は、7月15日提出の協議項目、提案内容が決まっています、確認日となっている書類を見て、決まっていくのかなと思ってしまったんですけど、ここで示されたものを学校に持ち帰って協議しようと思うと今日ここで即答できないと思います。保護者会の代表としては、すぐに決まる内容ではないのではないかと感じました。</p>
委員	<p>私の子供は今、小田小2年ですけど、来年は複式学級になるんです。来年3年生になったとき3.4年生の複式学級になるということを3学期に先生が普通に喋られて、保護者はみんなびっくりしたんです。統合の話を進めてますが、私たちの子供のクラスは複式になってしまいます。先生も不安だということを知ったので、学校側、教育委員会の方で複式学級についての準備などしてもらっているのか気になります。合併したらまた1クラスの人数になるから、それはそれでいいと思っていますんですけど、でも話が全然進まなくて。</p> <p>もし、複式になっても学校側も教育委員会の方も対応があるのか、子供たちの教育を他の学校と同じレベルでできるか不安です。</p>
事務局	<p>複式学級に対しての不安ということですが、複式学級は2学年がひとつの教室で勉強することになりますので、一人の担任が、45分のなかで時間を分け、例えば3年生、次は4年生というふうに授業していくわけですが、その間は片方の先生の授業、もう一つの学年は自主学習という形になります。ある程度、担任の先生が複式学級に慣れているかがポイントになりますが、そのことにつき</p>

	ましては、慣れた先生を配置するとか、教師が複式学級の授業するための研修を受けることになり ます。
事務局	<p>複式学級の場合は、学習リーダーといって子供が進めていく要素がかなり入ってきます。その際 に、学習リーダーを育てないといけないのですが、その辺りは小田小で意識をして指導方法を工夫 していくよう進めているところです。</p> <p>複式学級については、一概に複式学級だったら学力がつくとか、つかないとかの具体的なデー タはないですが、市内で複式学級をしている学校はあります。複式学級を経験している職員が少な くなってきているのは現実としてあります。そういう職員が増えていますので、複式学級になった ときには、しっかりと研修をして、教員の力量を向上させることが必要だと考えております。</p>
委員長	ご理解いただけましたでしょうか。
委員	来年の取り組みはまだしていないってことですか。
委員	<p>2,3年生の児童数が来年度、基準からして複式学級の編成になるということは事実です。</p> <p>4月当初の時点で説明が不十分で申し訳なかったと反省しております。学校の中では、今の時点で複 式学級に対して人員配置とかはありませんが、現在の2年、3年の担任に対しては、このままでは複 式学級になるので、そういうスタイルを想定しながら、学習指導を工夫し、やっていくように担任 には指示もしていますし、取り組んでいるところですのでご理解いただければと思います。</p>
委員長	現実的な課題が出てきたという感じがいたします。その他、ございませんか。
委員	<p>私は去年まで、甲立小への合併の意識でいたんです。だから、甲立の方は意識していないのかな と思っていました。去年1年かけて、ちょっとずつ誤解を解いています。</p> <p>だから、議案を見てびっくりしたんです。保護者は、少しずつ誤解を解いている段階だと思うん です。委員長さんが教育委員会の代弁をしているように感じます。</p>
委員長	<p>私は決して統合ありきっていう考え方ではありません。あくまでも地域振興会、地域の活性化の 確保は、やはり子供たちと住んでいる住民です。最初の委員会の時に言いましたように、合併統合 ありきで一切考えておりません。ただ、条件を皆さんがどういうふうな形を議論されていくのか、 それが一番必要ではないかと思えます。</p> <p>具体的な条件の話を総務部会ですると要綱に書いてあります。決して、私が教育委員会の代わり に話をしているわけではありません。</p> <p>今から甲田地区の小学校統合に向けての様々な条件の議論をしていかなければいけないと思いま す。統合校の位置については、最終的に全部の条件が整った段階で議論してもいいのではないかと 思えます。最終的に条件が全て出てから、場所はどこにしましょうかという形でもいいと思えます。</p>
委員	<p>複式の話も統合の話も、主体的に考えていけばいいと思いますが、時間がかかり過ぎたことで保 護者には不安とか誤解があり、準備委員会ができたからすぐに統合という気持ちになれない保護者 の心情を理解していただきたいと感じました。</p> <p>校舎の新設ができないのかという思いがあって、他の委員さんが言われた小中一貫校の提案をさ れましたが、ある意味、新設と繋がる場所があると思うんです。島根県で小中一貫校ができたっ て話を聞けば、なにかできるんじゃないかという可能性があると思ってしまう気持ちを理解しても らいたいです。</p> <p>町をまたいだ小中っていうことになると、次長さんの難しいという答弁もありましたし、財政的</p>

	<p>な状況もわかりますが、どうやったらできるのかっていう視点で議論をしてもらえれば、ここにいる保護者は、現実的に無理という答えや、もしかしたら新設できるかもと微かな希望を持っている旨を大事にさせていただきたい思いがあります。</p> <p>新設や小中一貫校の議論をもう少ししては、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>保護者会で3校が一緒になって新しいものを作るんだというイメージで話をしていました。そのなかで、保護者は「新しい学校」ってどんな学校なのかイメージを持っているんです。学校の位置は関係なく、新設を含め、いろんなイメージがあって、具体的にできるかどうかを知りたいんです。</p> <p>例えば、小田小・小田東小の耐震基準が不足しているなら、工事をしてどのぐらいの金額がかかるのか、自分がイメージした金額とはるかに高いとか。みんなが持っているイメージに対して、もっと具体的に比べられるものがあつたらありがたいという気がしています。</p> <p>新しい学校を造ったら、具体的にいくらかかるか、既存の校舎と比べて新設すると10倍くらい値段が違えば、新設は私たちのわがままだと思うだろうし、ちゃんと比較できるようなものがいただきたいと思います。</p>
委員	<p>僕のアイデアは、郷野小学校の校舎がとてもいいので、校舎を甲田に引っ張って来れないかなと考えたりしてたんですが…</p> <p>新しいピカピカの校舎でなくていいんです。安く建てる方法とか、維持できる方法とかアイデアはあると思います。三役でもいろいろ議論していますので、そういったアイデアを引き出させてくれる準備委員会にしてもらえるとありがたいと思っています。</p>
委員	<p>条件を部会で話をするというイメージがわかりません。例えば、「グラウンド」が条件だとしたら、グラウンドの何について話すのか。甲立小の保護者の中で小田東小に行ってもいい、ただし運動会だけは甲立小のグラウンドでさせてほしいという意見があります。要は、小田東小のグラウンドが狭いから広いグラウンドを使えばいい、学校自体はどこでも構わない、こういったいろんな意見があり、一概にこの学校じゃないといけないというのはないんです。それぞれのいい場所を使う考え方もあるので、まず議論して、現実的にお金がこれだけかかるから、無理だからこうしようっていう順序で、ひとつひとつ潰していくほうが結果的には、早いのではと思います。</p>
委員長	<p>21年度から学校統合に向けて、小学校のPTAと教育委員会が話をされたときに、具体的なそういう話を全然なされなかったのですか。</p>
委員	<p>具体的な質問は出ましたが、それは準備委員会になって話をしますという回答が多くて、結局、わからないままで進んできたことが多かったんです。</p>
委員長	<p>準備委員会の要綱の中では、部会から答申された部分を準備委員会で議論する形が書いてあります。その要綱を承知されて委員に就任されていると解釈していたのですが、課題を保護者会に持ち帰りPTAから帰ってきてまた議論をすると、時間がかかります。私は時間をかけることはやぶさかではないですが、具体的な条件っていうのは、ある程度の煮詰まりができていくという気持ちでした。</p>
委員	<p>私は、PTAの方と話し合いをして、PTAの方からもここで話を始めると聞いていました。振興会は、地域に残る学校や施設をどうするかということを議論するために話をしないとけないということで来ています。</p>
委員長	<p>甲立小学校地域では、PTAからの投げかけはありませんでした。甲立は、振興会は振興会という考え方があるみたいで、若干の温度差があるみたいです。私は具体的な条件を議論する場合は、総務部会だと認識していますので、委員の皆さんは総務部会の委員なのか教えてもらえますか。</p>

事務局	小田東小、甲立保育所が別で、それぞれの振興会、他の小学校、保育所は総務部会と兼任です。
委員長	皆さん、殆どが総務部会と兼任されているわけですね。準備委員会の議論がどのようにされているかっていうことは、市のホームページに要点録で記載されていますので、皆さんお読みになったと思いますが、今日の議題の統合校の位置関係についてですが、結局、位置を決めずに議論していくのか。それとも位置を決めて議論していくのか、いかがですか。
委員	結局、資料1の選定表の数値化したものはないのですか。
事務局	調査をして資料提供させていただきたいと思います。
委員長	私は、統合校の位置については皆さんが十分に議論されて、最終的にやむを得ないということになれば、結論が出ると思います。
委員	最初に言った質問は、もし小中一貫校をするのであれば甲立でも考えるということですね。
委員長	全く排除という考えはありません。否定するわけではないですが、3年以内に教育制度が根本から変わると考えられます。少子化に対応する考え方を国が考えてますし、それに沿ったような議論をしていただければいいんじゃないかと思います。
委員	学校を運営していく上で、経費（電気代、学校費など）市の支出、県の支出、その内訳がわかれば教えてもらえませんか。
事務局	はっきりした数字については、次回報告させていただければと思いますが、市の予算が、210～220億あるなかで教育費にかかる決算は、10数億円の範囲です。学校の維持管理にかかる経費についての補助金はありません。一般財源の持ち出しとなります。 ただ、交付税として入ってくるお金はあります。決算の資料で次回説明させていただければと思います。
委員	市の教育費の内訳と各3校の経費の内訳を教えてもらえると、一人当たりどれくらいってのがわかってくると思います。 あと、3校の通学距離を平均どれくらいかかるかを出していただければと思います。
委員長	学校運営をするのに、どれだけの金額がかかるか具体的な数字を、それぞれ学校で出していきたいというのが、皆さんの本音だと思います。 3校それぞれと1校にしたときの数字を出していただければ、具体的にわかると思います。 おそらく議論をしつくしたと思いますので、今日の準備委員会については閉会に持っていきたいと思います。意見集約として、統合準備はやむを得ないということでご承知していただいていると思われませんが、いかがですか。 次回以降から、総務部会で議論を進めていくという形で、できれば準備委員会については3ヶ月に1回ぐらいのペースで開催していきたいのが教育委員会の方針ですがいかがですか。
委員	専門部会（総務部会）を開くということですか。
委員長	具体的に総務部会に持っていった方が話をしやすいと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	別紙の「担当部会別項目案」をご覧ください。この準備委員会には協議項目が70ぐらいあって、効率的に会議を開くために専門部会を置いて調査・研究をします。1ページは総務部会が所管する協議項目、2ページ目は教育振興部会が所管する協議項目、3ページ目は学校史編纂部会が所管する協議項目です。 従いまして、これらの協議項目について専門部会を設置して、次回から議論をしていこうということであれば、次回は専門部会を開かせていただきますし、もう少し準備委員会の場で議論したいところがあると考えるのであれば、そのようになっていくと思います。 甲田地区の委員さんの考えのなかで決定していただければと思っています。

委員長	事務局からの提案ですが、いかがですか。
委員	<p>細かなことについては、専門部会で議論することが相応しいと思いますが、例えば、学校の新設、小中一貫校の案とかは、いま教育委員会が出されている提案の根底が崩れるというか、変わってくるので、むしろ準備委員会の方がいいのかなと思ったりします。</p> <p>専門部会で話をするのではなくて、位置決め、新設・小中一貫校の議題など大きなテーマは部会ではなく、準備委員会の方が相応しいのかなという気がしました。</p>
委員長	総務部会については、今の段階では設置をせずに、準備委員会で議論するという形がいいというご意見じゃないかと思いますが、いかがですか。
委員	賛成です。
委員	3校の意見交換会でも一番関心を持っておられたのが、統合校の位置と通学・方法に関することです。この2つを優先で議論できればと思っております。
委員長	<p>準備委員会の在り方についてですが、総務部会は開設せず、教育振興部会と学校史編纂部会は開設をして、教育委員会事務局に委ねるという形でやっていきたいと思えます。</p> <p>異議なし。(全員)</p> <p>次の開催日時は、8月11日19:00～ 場所は、また通知をいただくということでお願いいたします。</p>
事務局	今回は、資料請求があったものに加えて、こちらの提案としては、通学と通学助成の件を提案させていただきます。
委員	耐震化の基準は甲立が満たしているのでその部分が大きいとは思いますが、小田・小田東小の耐震化した場合、どれぐらいの費用がかかるのか教えてください。
委員	吉田小学校でいくらかかったのかも教えてください。
事務局	今まで耐震化の工事をやった実例で、吉田小や吉田中の実績を出すことはできます。小田・小田東小は設計をしていないので、数字を出すのは難しいと思います。
委員	新設した場合、どれぐらい費用がかかるかとかは。
事務局	それは、建物次第だと思います。近隣の似たような規模のものを探して提供はできると思います。
委員	会報第1号を保育所にも配ってください。
事務局	保育所にも配布します。
委員長	閉会にあたりまして、教育次長さんの方から挨拶があります。
教育次長	<p>本日はお昼のお仕事等でお疲れのところ、夜遅く集まっただき、熱心にご協議いただき大変ありがとうございます。</p> <p>教育委員会の方にいろいろとご質問いただきましたので、これから資料を作成し次回には出させていただきますと思います。先ほどの通学については、子供さんの家を一軒一軒どのくらい離れているか距離を調べて、細かく調査しておりますので、次回に作業が間に合わない部分があるかとは思いますが、そのことについてはご了承いただきたいと思えます。本日はありがとうございます。</p>

第2回 甲田地区小学校統合準備委員会次第

日時 平成26年7月15日(火) 19時00分～
場所 ミューズ 二階研修室

1. 開 会

2. 諸般の報告

3. 協議事項

- (1) 協議項目2 統合校の位置について
- (2) 専門部会の設置について

4. 事務連絡

- ・ 次回開催予定 平成26年 月 日 ()

5. 閉 会

協議項目 第 2 号 統合校の位置について

平成26年7月15日 提出

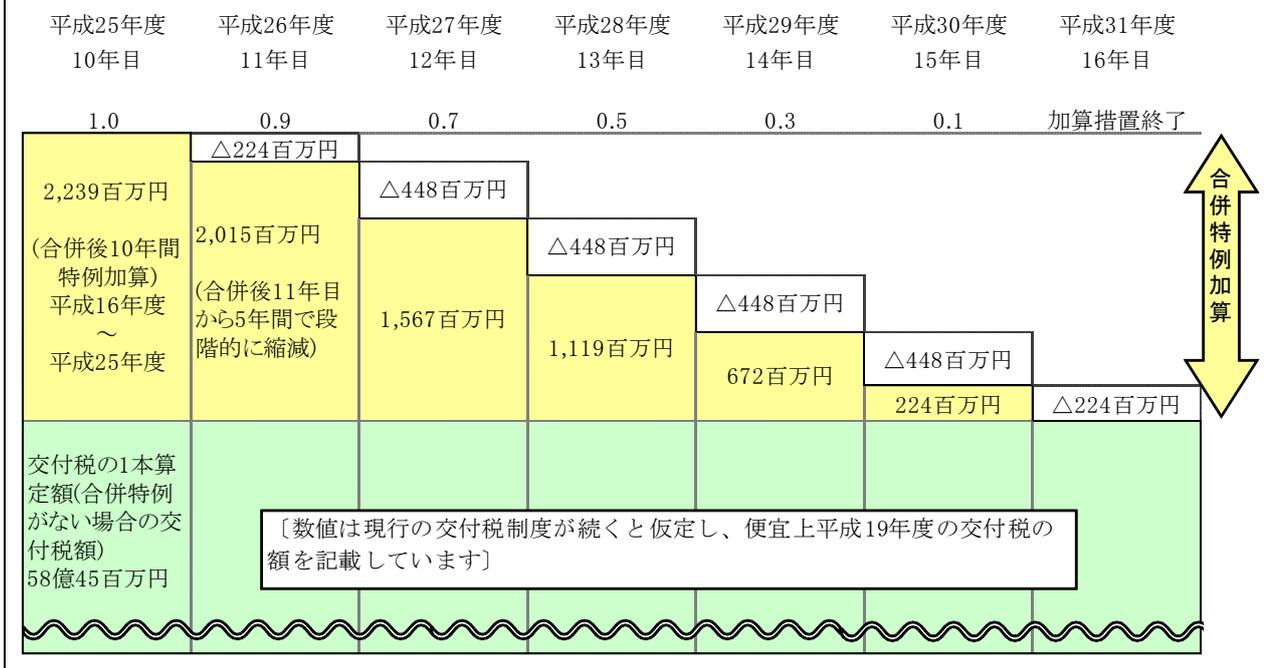
協議項目	統合校の位置について
提案内容	統合校の位置は、現甲立小学校である安芸高田市甲田町上甲立433番地とする。
協議結果	
確認日	平成 年 月 日 第 回 準備委員会で確認

項 目		評 価 目 的	容 観 基 準	甲 立 小 学 校	小 田 小 学 校	小 田 東 小 学 校	評 価 の 基 準
大 項 目	小 項 目			数 値	数 値	数 値	
児童数	平成28年度児童数	計画期間末の児童数		55人	46人	93人	多いほうが評価が高い
将来児童数	小学校区内の20代人口	計画期間後の児童見込み		205人	89人	198人	多いほうが評価が高い
学校の位置	位置	統合後の学区全体からみた位置					中心地が評価高い
	学校生活の利便性	地域での中心地		医院、図書館、支所、郵便局	郵便局	医院、図書館、支所、郵便局	病院(医院)、図書館、市役所支所、郵便局が近隣に多いほうが評価高い
通学	通学総距離	平成28年の児童の総通学距離					少ない方が評価高い
	通学路の安全性	安全安心の確保		県道	県道	県道	国道等、河川沿いの利用は評価低い
校舎	校舎の老朽度	大規模改修がいつ必要か	建築後20年(国の補助金基準)	S59.9(RC)	S55.9(RC)	S53.10(RC)	新しい建物が評価高い
	耐震性	耐震工事が必要か	S56年法改正	新基準	不足	不足	耐震新基準による建物が評価高い
	保有教室面積	統合後の教室の増築必要性	6学級×74㎡以上(国の基準)	1,225㎡	1,246㎡	1,073㎡	基準以下だと評価低い
	校舎面積	統合後の増築必要性	6学級2,468㎡(国の基準)	2,589㎡	2,461㎡	2,463㎡	基準以下だと評価低い
体育館	体育館の老朽度	大規模改修がいつ必要か	建築後20年(国の補助金基準)	S52.1(S)	S54.3(S)	S55.2(S)	新しい建物が評価高い
	体育館面積	統合後面積は十分か	6学級894㎡(国の基準)	727㎡	850㎡	727㎡	基準以下だと評価低い
プール	プールの老朽度	大規模改修がいつ必要か		S48、改修H22	S48、改修H22	S48、改修H22	新しい施設が評価高い
敷地	校地面積	増築等が可能か		10,875㎡	8,677㎡	9,553㎡	面積多いほうが評価高い
	校庭面積	統合後面積は十分か	240人以下2,400㎡	9,905㎡	6,125㎡	6,558㎡	基準以下だと評価低い
	敷地形状	利便性は良いか		平坦地	傾斜地	平坦地	傾斜地、敷地分断は評価低い
自然環境	自然環境条件	騒音、日照、空気等の環境		河川隣接		県道・河川	環境により判断
	災害	災害発生の可能性		浸水区域	土石流	土石流	浸水区域、土石流がけ崩れ区域等は評価低い
その他	その他評価項目						学校特有の評価項目は加味

(1) 普通交付税の合併特例加算措置の終了について ※財政健全化計画抜粋

普通交付税は、合併後10年間は合併特例により旧六町が存在したと仮定して加算措置され、その後5年間で段階的に縮減され、16年目で加算措置が終了します。本市においては、平成25年度までは満額合併加算措置がありますが、現行の交付税制度が続くと仮定しても、平成26年度以降は、毎年4億5千万円程度減少し、平成31年度からは、現在の交付税と比較すると、22億4千万円も減少することになります。

今後これほどの額の歳入財源の確保は相当困難であると思われることから、歳出経費の更なる縮減は必定となります。



(2) 平成25年9月実施財政推計 ※平成26年度予算編成方針抜粋

市の人口減、普通交付税の合併特例加算の減を反映し、「安芸高田市総合計画2005」の平成25年度実施計画中の事業を実施するとしたとき、平成26年度から平成31年度までの財政推計の収支を合計すると、34億85百万円のマイナスとなりました。

(単位:百万円)

区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26～H31 収支合計
歳入計	20,394	20,053	18,350	17,305	17,030	16,077	
歳出計	20,079	20,014	18,698	18,273	18,040	17,590	
収支	315	39	▲ 348	▲ 968	▲ 1,010	▲ 1,513	▲ 3,485

甲田地区統合準備委員会

【総務部会】

番号	項目	担当部会
1	統合目標年月日	総務部会
2	統合校の位置	総務部会
3	学校名	総務部会
4	校章	総務部会
5	校旗	総務部会
6	校歌	総務部会
8	学校編成	総務部会
9	学校設備(教室)	総務部会
10	学校設備(特別教室等)	総務部会
11	学校設備(支援学級)	総務部会
12	職員室	総務部会
13	体育館	総務部会
14	学校プール	総務部会
15	運動場	総務部会
16	運動場の遊具	総務部会
17	駐車場	総務部会
22	制服	総務部会
23	名札	総務部会
24	体操服	総務部会
25	通学方法	総務部会
26	通学路	総務部会
27	通学路の整備	総務部会
28	登校班編成	総務部会
29	交通指導	総務部会
30	統合校からの通学児童	総務部会
31	統合校から通学の方法	総務部会
32	統合校バス通学のバス停	総務部会
33	同バス通学の練習	総務部会
34	遠距離通学助成	総務部会
35	遠距離通学確認	総務部会
36	放課後児童クラブ	総務部会
37	閉校となる学校の跡地活用	総務部会
38	閉校式	総務部会
39	閉校記念行事	総務部会
41	引越しに関すること	総務部会
42	開校式	総務部会
43	始業式	総務部会
44	入学式	総務部会
38件		

甲田地区統合準備委員会		【教育振興部会】
番号	項目	担当部会
7	校訓	教育振興部会
18	図書室	教育振興部会
19	学校図書	教育振興部会
20	学校備品	教育振興部会
21	消耗品	教育振興部会
45	学校経営方針	教育振興部会
46	学校教育目標	教育振興部会
47	カリキュラム	教育振興部会
48	地域交流事業	教育振興部会
49	特色ある教育活動	教育振興部会
50	教科書・指導書	教育振興部会
51	補助教材	教育振興部会
52	特別支援教育	教育振興部会
53	学校通信	教育振興部会
54	校務分掌	教育振興部会
55	事前交流計画	教育振興部会
56	職員加配	教育振興部会
57	学習補助員	教育振興部会
58	年間学校行事	教育振興部会
59	月行事	教育振興部会
60	週行事	教育振興部会
61	児童会活動	教育振興部会
62	修学旅行	教育振興部会
63	PTA組織	教育振興部会
64	PTA事前交流事業	教育振興部会
65	生活のきまり	教育振興部会
66	その他関係団体	教育振興部会
67	学校予算	教育振興部会
68	学校給食	教育振興部会
69	学校給食会計	教育振興部会
70	学校評議員	教育振興部会
31件		

甲田地区統合準備委員会

【学校史編纂部会】

番号	項目	担当部会
40	閉校誌等	学校史編纂部会
1件		